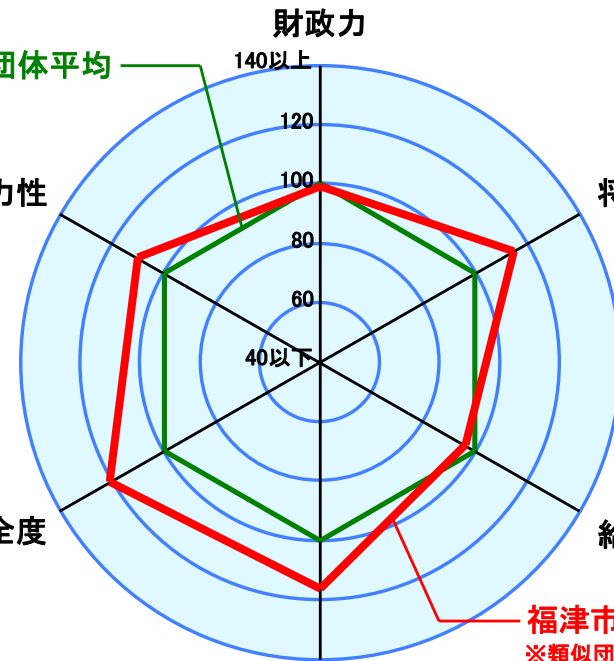


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 福津市

人口	56,195 人(H17.3.31現在)
面積	52.71 km ²
歳入総額	19,599,029 千円
歳出総額	14,908,889 千円
実質収支	4,688,174 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

○財政力指数

長引く景気低迷による個人・法人関係の減収や市内に中心となる企業が少なく財政基盤が弱いことなどから、0.56と類似団体平均を若干下回っている。今後の対策としては、収納率の目標を設定し、納付環境の整備、納付指導の強化に取り組むなど収収の向上対策を中心とする歳入確保に努める。

○経常収支比率

合併に伴う市制により、生活保護給付費など扶助費の増加や、清掃工場建設に係る起債償還により一部事務組合への負担金など補助費等の増加により、比率は年々悪化している。今後は、行政評価制度の活用によりすべての事務事業を厳しく点検し、優先度の低い事務事業の計画的な廃止・縮小を進め、民間委託や指定管理者制度の活用により、経常経費の削減を図る。

○起債制限比率

過去において集中的な繰上償還や交付税算入措置を考慮した起債借入により、類似団体平均を下回っている。しかし、今後大型事業として福岡駅東土地区画整理事業や福岡駅舎改築事業が控えているため、他事業における起債の発行抑制や、引き続き繰上償還の定期的な繰上償還を行うなど現在の水準を維持する。

○人口1人当たり地方債現在高

近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後H18年度に策定される福津市総合計画のもと、適量・適切な事業の選択により起債に大きく頼ることのないよう財政運営に努める。

○ラスパイレス指数

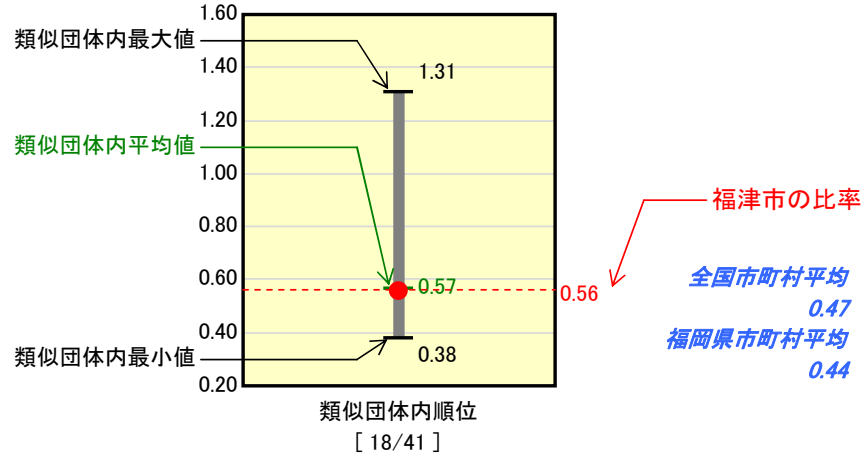
福津市の数値は、全国市平均と同じで、類似団体の平均を1.1ポイント上回っている。今後とも、公務員の給与制度改革に伴う給与制度や各種手当の必要な見直しを行ないながら、給与水準の抑制に努める。

○人口1,000人当たり職員数

旧福岡町及び旧津屋崎町では、職員数を抑制してきたため、人口1,000人当たり職員数は少ない水準で推移してきた。福津市においても、依然少ない水準を保っているが、今後の市町村を取り巻く情勢の変化に対応できる体制づくりのため、更なる定員の適正化を図る。

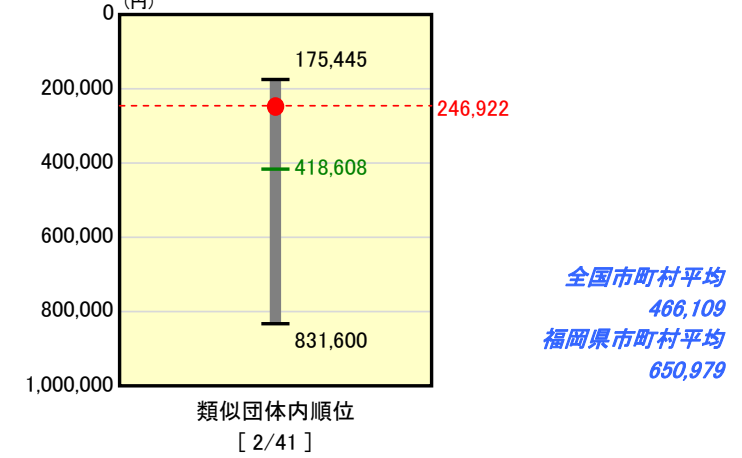
財政力

財政力指数 **[0.56]**



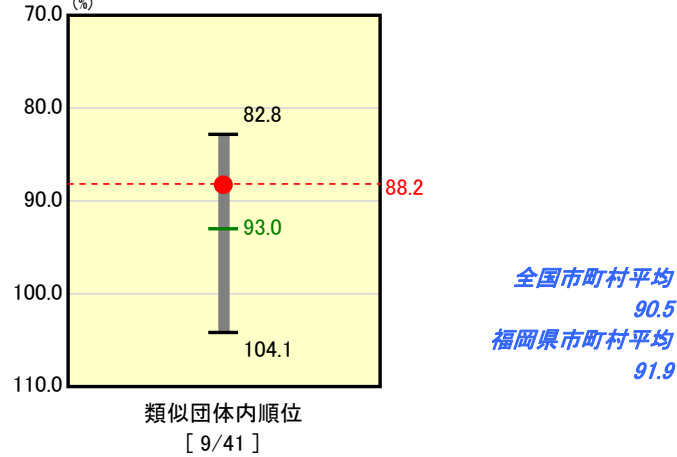
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[246,922円]**



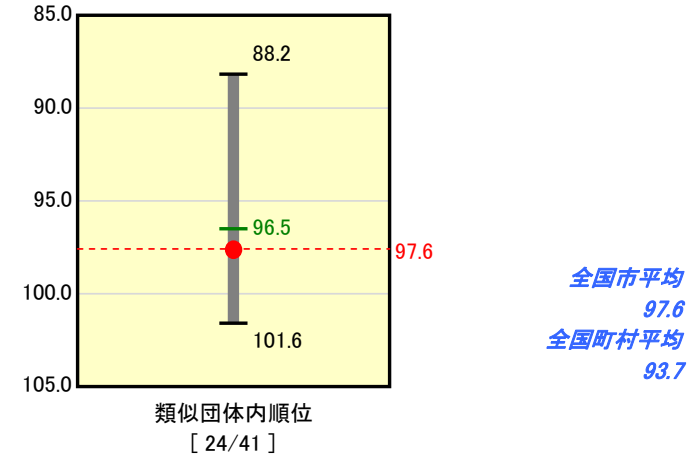
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[88.2%]**



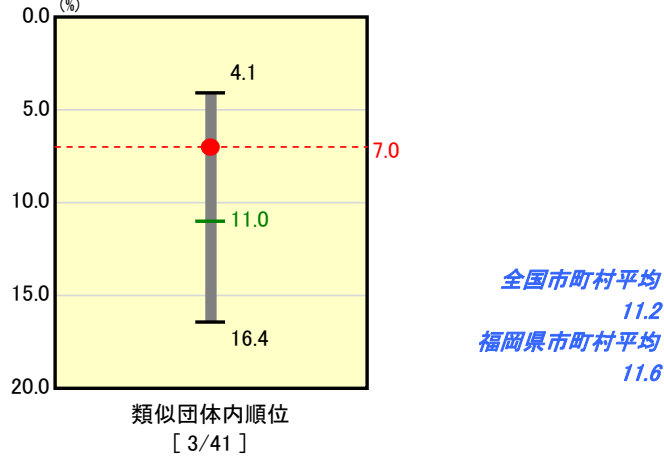
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[97.6]**



公債費負担の健全度

起債制限比率 **[7.0%]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[5.61人]**

